

平成 25 年度 事業報告書

1 平成 25 年度 奨学金支給者選考

選考方法は次の通りである。

応募資格	日本国内の建築及びその関連学科を専攻する大学院修士課程 第 1 学年在学者
採用予定	7 名
支給期間	大学院修士課程修了までの 2 年間
提出書類	在学証明書、成績証明書、指導教官の推薦状、研究テーマの 概要
審査	選考委員会により決定
選考	5 月に選考委員会を開催し 7 名を採用

※ 今年度選抜された奨学生は下記の大学院生
(個人情報のため 7 名の氏名は省略)

2 奨学金の給付 (給付対象者及び給付額)

給付対象者 14 名 (内今年度の新規 7 名) に対し、1 人当り月額 25,000 円、
合計給付額 405 万円を 7 月と 3 月に支給した。

支給実績 6 月 : 14 名、 3 月 : 13 名 (1 名退学により資格喪失で支給せず)

※ 平成 24 年度の奨学生は下記の大学院生
(個人情報のため 7 名の氏名は省略)

3 奨学生セミナーの開催

第 1 回は、7 月 22 日 (月) に奨学生 (14 名) が出席し、今年度最初の奨学金
を支給し、新建築社の発行した雑誌 (新建築等) を参考資料として交付し、恒
例による「奨学生向け」のセミナーを同時に行った。

講師	藤本 壮介氏 (藤本壮介建築設計事務所・代表)
講義テーマ	「サーペンタインと今後の建築業界について」
参加人員	14 名
費用合計	18.5 万円

第2回は、3月28日(金)に奨学生13名が出席し、奨学金を支給し、新建築社の発行した雑誌を参考資料として交付、セミナーを行った。

講師に株式会社日建設計の山梨 知彦氏をお招きし、最近の建築業界について幅広い話題の提供をお願いし大変好評であった。

参加人員 13名
費用合計 18.5万円

4 吉岡賞(新人奨励賞)の選考

2014年1月号から12月号までの間に新建築社の「住宅特集」誌に掲載された作品及び「新建築」誌に掲載された住宅に関連した作品を対象に6月に第1次審査、第2次審査を行い、受賞作が決定した。

受賞者 杉下 功 受賞作「かみのきの家」
島田 陽 受賞作「六甲の住居」
審査員 建築設計事務所代表 内藤 廣氏
建築設計事務所代表 堀部 安嗣氏
費用合計 22.2万円

5 新建築講演会

財団が主催する新建築講演会は既に61回実施しているが、今回は新建築社との共催で「霞が関文化フォーラム」第1回として開催した。建築史に詳しい藤森 重信氏(工学院大学教授、東京大学名誉教授)を講師に「45年目の霞が関ビル」をテーマに講演を行った。

秋にも第2回目を予定していたが、諸般の事情で中止となった。

費用合計 15.2万円

6 研究補助

建築ないし建築文化の発展に寄与すると認められる研究に対し補助金を希望する大学や大学院研究室に支給するが、今回は、適正な審査、選考の結果「東京工業大学(塚本由晴研究室)」へ「100万円」を支給した。

平成25年度事業報告 附属明細書

平成25年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成26年6月17日
一般財団法人吉岡文庫育英会協会